



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに日田市、佐伯市、竹田市、豊後大野市に不法投棄防止フェンスを設置した。また、佐伯市に2台の不法投棄防止監視カメラを設置し、不法投棄防止対策の強化を図った。</li> <li>・県内産業廃棄物の減量化や再生利用に係る事業化を9件支援し、製材時に発生する端材等のリサイクルや食品残渣の発生抑制が進んだ。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化していた大気汚染常時監視テレメータシステムの改修を行い、県民向けにグラフや地図を利用したわかりやすい情報提供を行った。</li> <li>・水質汚濁防止法等に基づく第7次水質総量削減計画に基づき、水質の向上に努めた。水生生物調査において、水質階級Ⅱ以上(比較的きれいな水)の地点の割合が9割を超えている。(H27:91.3%)</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かな水環境フォーラム」を開催し、それぞれの流域での取り組み等の情報交換を行い、水源、生態系等の保全意識が向上した。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業	25,307	A	継続・見直し	81
	循環型環境産業創出事業	78,382	A	継続・見直し	116
②	大気環境監視推進事業	36,791	A	継続・見直し	79
	生活排水処理施設整備推進事業	409,952	A	継続・見直し	182
③	豊かな水環境創出事業	20,031	A	終了	80

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○おおいとうつくし県民会議 廃棄物・大気・水環境部会(H28.5)</p> <p>・豊かな水環境創出事業も3年目ということで総括をしようと思うが、今やっと動き出した地域もある。できればこの後も何らかのフォローをしてもらいたい。</p>	
--	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物を地域資源として活用する循環型環境産業を育成するため、産業廃棄物の再生利用や減量化等にかかる事業化の支援を行う。</li> <li>・行政主導の施策提案、県民からのアイデア募集など官民一体となり、再資源化向上検証事業を実施する。</li> <li>・マスメディアを活用した広報活動の充実を通じて、不法投棄の防止、産業廃棄物の発生抑制について県民の理解を深める。</li> <li>・PM2.5の発生源推定に資するためPM2.5成分分析を実施し、その結果に基づき地域における特定の発生源への対策を実施する。</li> <li>・「豊かな水環境創出事業」により構築されたネットワーク(流域会議)の活動を発展させるため、各流域毎の課題に即した支援を行い、活動の自立と連携強化を促進する。</li> </ul>